

む

無用な刺激は遮断して

【ASDへの対応例②】

ASDの生徒は、感覚刺激に対する敏感さによって、ストレスを感じたり体調不良を訴えたりすることがあります。その場合、下の例のように不快な刺激を遮断する対応が考えられます。

視覚刺激に過敏な生徒には、サングラスの着用や暗幕のある部屋、パーテーションのある空間を準備して対応する場合があります。



聴覚刺激に過敏な生徒には、耳栓やイヤーマフという防音具の装着を勧める場合があります。また、室内の椅子の脚にテニスボールを取り付けて、椅子と床とがこすれる音を軽減します。

